

(別記)

2019年度 吉富町地域水田農業推進協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は福岡県の最東端に位置し、町域は東西1.8km、南北4.0km、総面積5.72km²で、農業振興地域374haの内223haを農用地区域に指定して農業の振興を図っている。

しかし、農業経営規模は零細で、米麦を主体とする土地利用型農業が中心であるが、土地基盤整備が大幅に遅れているため、農家の大規模経営化がなかなか進まず、地域リーダーの不足が課題となっている。さらに近年は担い手の高齢化や就農者の減少など農業の担い手不足が深刻化している。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

取組が難しいが今後の拡大を目指す。

(3) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦

産地交付金を活用し、二毛作による作付や担い手による作付や排水対策等に配慮しながら、収量向上を図るとともに、現行面積の拡大を目指す。

イ 大豆

取組が難しいが今後の拡大を目指す。

ウ 飼料作物

取組が難しいが今後の拡大を目指す。

(4) そば、なたね

排水対策などを行っている人を対象に産地交付金による作付支援を行いながら、地域の実需者との契約に基づき、現行の作付面積を維持する。

(5) 高収益作物(園芸作物等)

「ブロッコリー」、「なばな」、「レタス」、「たかな」、「スイートコーン」、「ごぼう」、「なす」、「赤大根」、「イチジク」、「トマト」、「シンテップウユリ」、「ハボタン」、「ケイトウ」、「短形白大根」を、産地交付金における地域の重点振興品目として、作付拡大を図る。

その他の作物についても、産地交付金による作付支援を行いながら、今後作付面積の維持・拡大を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	90	90	90
飼料用米			3
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦	47.8	100	150
大豆	6.4	15	20
飼料作物	0.2	1	2
そば	0.3	1	2
なたね			
その他の地域振興作物	6	11	13
野菜	5.2	8	10
花卉・花木	0.6	2	2
果樹	0.2	1	1

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度(実績)	目標値
1	麦・飼料作物 (二毛作)	麦・飼料作物助成	作付面積	(2018年度) 35ha	(2020年度) (35.0ha) 70ha
			二毛作率	(2018年度) 22.60%	(2020年度) (23.3%) 45%
2.3	麦・大豆・飼料作物(基幹、二毛作)	麦・大豆・飼料作物助成	作付面積	(2018年度) 53.4ha	(2020年度) 65ha
			1ha以上の 大規模農家数	(2018年度) 9人	(2020年度) 25人
4	地域振興作物	地域振興作物助成	作付面積	(2018年度) 4ha	(2020年度) 7ha
5	野菜	野菜等助成	作付面積	(2018年度) 2.4ha	(2020年度) 5ha
6	そば	そば助成	作付面積	(2018年度) 0.2ha	(2020年度) 2ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

省略